

第13回 みくにひじり幼稚園・保育園 学校評価委員会 報告書

令和6年6月28日(金) 午後 6 時～

みくにひじり幼稚園 2Fホール

出席者

記録者 みくにひじり幼稚園主事 安達

堀 いつみ	三国地区社会福祉協議会	安達 巡	聖晋学園 理事長
峯 紀良	三国小学校 教頭		みくにひじり保育園施設長
中川 悦子	保護者会 会長	安達 祐一	みくにひじり幼稚園園長
秋山 加奈恵	母の会 前会長	奥村 綾	みくにひじり幼稚園副園長
荒木 敬博	おやじの会 会長	今井 明美	みくにひじり幼稚園主任
尾杉 祐樹	おやじの会 前会長	安達 香代	みくにひじり幼稚園主事
今川 雪奈	保育園卒 現幼稚園 保護者	前田 純子	みくにひじり保育園主任
小池 好広	保育園卒 現幼稚園 保護者	隅川 千聡	みくにひじり保育園副主任
狭川 一三	三国八町会		
峯松 好	三国八町会		

1、 園長挨拶

①学校評価委員会についての考え方②評価委員メンバー構成について③情報公開了承のお願い

2、 自己紹介

3、 評価内容項目

①令和5年度 自己評価結果公表シートについて(幼稚園・保育園)

②令和5年度 保護者アンケート(幼稚園・保育園)

4、 保育の取り組みについて(幼稚園・保育園)

○幼稚園

令和5年度、評価項目『幼児理解に努める』から子どもの育ちをどう共有し、どう深めるかについての取り組み報告。

○保育園

令和5年度、評価項目『乳児1歳児以上3歳未満児、3歳以上児の保育に関わるねらい及び内容を意識した保育環境の充実』を元に取り組んだダイダイジュース作りの実践報告。

5、 意見交換(主なご意見)

○すごい一言、子どもたちを通わせていた時と違うのはお父さんの参加があること。

保育園の取り組みについての動画を見せてもらったらしっかりしているんだなと思った。
園がしっかり一人ひとりを見てはるんだなと思った。

○長い歴史があるが、細かいところまで教育が進んで、皆さんで支えてやってはるなと思う。

今後とも良い幼稚園がますます教育が進んでいけばと期待している。

○子どもが男の子25歳の子が通っていた。ある時先生におしめを持って行かせていた。
いつもご迷惑をおかけして申し訳ないけどもう少しお願いしますと言ってお願いしていた。
うちの子もこんなんやったんかなと嬉しく思う。

○2人卒園しました。橙のジュース・お砂場のドリップは本当に楽しそうだなと思った。
クラスの活動で、自分達で考えて大きなシャボン玉を作ろうとしていることがあった。普段幼稚園のことは話さないけど、その活動をしている時は、「せっけん・ストロー持って行かなあかんねん」と子どもの方から教えてくれた。自分が主体として、リーダーとして進めている活動だからそんな話を家でしてくれたのかなと。先生がそういう環境を作ってくれていることに感謝しています。

○保育園の方は、すごい取り組みで意欲的に取り組んでいるんだなと思った。
幼稚園は、うちの子は走り回っているだけで製作は好きではない子だ。幼稚園ではやってなくても家でやっている。年長になってから家ではさみを出したりしていて、幼稚園での影響が大きい。
帰りにも先生が声を掛けてくれることに感謝している。
迷惑をたくさんかけると思うけどよろしくお願いします。

○保育園と幼稚園どちらもすごい一言。保育園は第2の家で、先生がハイタッチして喜んでくれる。
幼稚園は、親だとただ土を触って遊んでいると思ってしまいがちだけど子どもがポロっといった一言を拾って、子どもだけではできない事をしてもらっている。
普段から担任ではないフリーの先生からも、報告や声かけをしてもらっている。
今日もこういう話を聞けて安心した。

○知らなかったなという印象。
アンケートを見て自分が思っていたこととずれていなかった。手厚くやったださっている。
自分達だけが思っているだけでなくみなさん同じ意見を持っていた。
取り組んでいただいている。
年長と年少の子どもがいて、子どもの特性が違う兄弟で上の子は引っ込み思案に合わせてくれる。
下の子はやんちゃで最近家は帰ってきてから園の事を話してくれる
そういう性格ではなかったけどいい刺激を受け成長している。

○橙ジュースの取り組みで、子どもたちが中心になって、人の為にするはぐくみが大切。
社会に入っても人の為にすることが一番。家庭でも自分の趣味だけを優先すると怒られる。
子どもは気付かないかもしれないけど子ども優先で素敵だなと感じた。
ドキュメンテーションの掲示をしていることは知らなかった。ドキュメンテーションの展示の誘導をしていただけるといいと思う。せっかく素敵なことをやっているのだからPRしていただけると嬉しい。
4歳児って何となく遊んでいるというのは自分の子を見て感じた。いつかは何かを発見して遊んでいる所を見たい。いちにち先生をしてみたいいい取り組みだと思った。先生がやっていることを身近に感じれた。

○いつも子どもが家にいるときに「幼稚園明日も行きたい」と言っている。帰ってきたらどこからそんなもってきたんかくらい大きい製作。お母さんはよく思っていないが、先生は大きい心で見ている。自由にさせて頂いている。

お父さんの参加が増えている。

会社も参加があるときはどんどん休んでいってくれて良いと言ってくれている。

家庭での会話も増えて子どもが何をしてるかもわかる。この活動を広げていきたい。

運動会でおやじの会を発揮したい。リレーや綱引きをしたいという勝手な思いがある。

おやじの会 月一回の参加者も増えてきている。今後もやっていきたい。

○以前から幼児教育との連携に興味があった。改めてすごいなと感じている。

1、2年生は遊びの中で成長していくが、小学校1年生が学んだことを止めていないかと思うくらいでした。学んだことをより良くしていくように努めたい。

小学校では写真で伝わりにくい部分があった。

Q 動画配信がありました。動画配信をする上で、されていることがありますか？

A 肖像権は入園される時に取っている

転送をしない約束

クラスだけに配信

小学校ではどうしても承認が得られないとやめようとなってしまう。

静止画では伝わりにくい。活動が伝わるのは動画なので、参考になった。

【アンケート結果(8 通回収)】

① 自己評価結果公表シート評価結果について(幼稚園)

・適正である…8

・適正でない…0

自己評価結果公表シート評価結果について(保育園)

・適正である…8

・適正でない…0

〈ご意見〉

・年齢に応じた子ども中心の取り組みをされていると感じられる。

・取組状況、結果、今後の課題等わかりやすかったです。

・先生方が重点的に取り組んでいる内容がよくわかった。

・園の方針が客観的に理解できる情報を示されており、適正と感じる。

・子ども第一に考えてくださっているのがとても伝わってきます。子どものことを信じて、どんなときでも寄り添っていかうとされる熱意も感じます。

また、そのために先生方同士でこまめに目的を共有して、意識にズレがないように徹底されていることがよくわかりました。

・目標、取り組み、結果、課題が非常に明確で、子どもの成長のためにしてくださっていることが理解できました。

・幼稚園・保育園共にわかりやすくまとめられていてその状況での保育者の関わりや言葉掛け、これからの課題などが明確でとてもよいと思いました。

② 保護者アンケート集計結果について(幼稚園)

・適正である…8

・適正でない…0

保護者アンケート集計結果について(保育園)

・適正である…8

・適正でない…0

- ・子ども達の成長を保護者の方が実感されているなあと感じた。
保護者の言葉をそのまま載せているように見え、また、悪い意見も載せているので適切なものだと思います。
- ・良い意見も課題意見もしっかり書かれていて、よりよいひじり幼稚園、保育園をみんなで作っていく旨が伝わってきた。
- ・園の方針が客観的に理解できる情報を示されており、適正と感じる。
- ・ほとんどの保護者が、保育園・幼稚園に満足していることがわかります。これだけ多くの保護者がいる園で、こんなに感謝の気持ちがあふれているアンケート結果は本当に素晴らしいことだと思います。
- ・決められた時間に全員で同じことをする教育のほうが先生はやりやすいはずなのに、子ども優先の「自由」を大切にしてくれる園の方針は、あらためて素晴らしいと感じています。
そしてそれを先生全員で協力して取り組んでおられるのは、心から子どものことが好きで、子どものこの貴重な時期を大切に想ってくれているからで、簡単にできることでは無いだろうなと思いました。
- ・何気ない子どもの言葉や行動をひろって、読み解いて、導いてあげる教育というのは、保護者としてとても参考になりました。私もこんなふう to 子どもを観察して、楽しく子育てしようと感じました。
良い意見が多く、共感できる内容ばかりです。一部保護者からの指摘も見受けられますが、保育目標とは直接関係のないことがほとんどですし、改善できる内容だと思います。
- ・アンケートに関して(良い点悪い点共に)たくさんの回答があり 1 つずつ読んでみましたが、こうあってほしいというところが少しでも良い方に変われれば…今後ますます園自体のパワーアップに繋がるんだろうなと思いました。
保育園の保育、教育のとてもよかった 100%は素晴らしいと思いました。

③ 保育の取り組みについて(幼稚園)

〈ご意見〉

- ・今は電動自動車が多く普及しています。園関係者だけではないのですが、子どもの見守りをしていると危ない場面も多く園児・保護者も交通ルールを学ぶ機会を作ってもらえたらと思います。
- ・先生方がたくさんの準備をして、園児を見てくれていることがよくわかる発表でした。
しかし、このことは多くの保護者が知らないことだと思いますので、先生の取り組みも動画で流したりすると、動画を見た保護者は安心すると思いますし、子どもは自分のことを考えてくれていると思うかもしれません。
文書形式で送ってくださっていますが、やはり動画で見ると印象も変わるので、数ヶ月に 1 回そういうのがあっても良いのではとも思いました。
- ・幼稚園は保育園のときよりも、主張がうまれることで、子ども達の個性が増幅される時期なので、保護者もナーバスになり、それに対応する先生方関係者のみなさまのご苦労をお察しいたします。
個人的には先生方にご迷惑をかけすぎないよう保護者としても注意は払いながらお互いに気遣いを忘れずに子育てという活動を共有できたらと感じています。今後ともよろしくお願いします。
一点細かい話で恐縮ですが、外に廊下のある二階建ての建物（すみれ組、みどり組）の「柵」の安全性が気になっています。園児がよくもたれかかっている様子をみかけており、ただ鉄の柵が敷設されているだけなので、強度面がわからないなかでは不安に感じます。変えてほしい、という意味ではなく、安全点検などの実態が説明いただけると安心できます。（我が子には、柵に持たれたりしないように言い聞かせてます）

- ・ウキウキタイムの先生方の配置決めやドキュ会など、先生同士がコミュニケーションを密に取り合っている様子が分かり、組織として素晴らしい幼稚園だと思いました。
- ・子ども一人ひとりの様子を、担任の先生だけではなく、周りにいるたくさんの先生も一緒に見守る事の出来る環境が良いなと思いました。また、様々な様子を写真や動画で記録しておく事で、その時は見逃しがちな子どもの些細な出来事を発見する事が出来て、その後の活動の参考にもなり、素晴らしいと思いました。
- ・毎日やりたい 楽しい の経験を味わう事ができ、子供の考えに先生のちょっとした声掛けやアイデアでさらに子供達の興味や関心を膨らませて頂いてること、自分で出来た！と自信に繋がっていることを日々感じています！
自分達で考え行動すること、困ったら少し助けてもらいながらもすぐに次の行動につなげていける保育をして頂いている事に感謝しています。

(保育園)

- ・ダイダイジュースの話がすごく印象に残りました。
3歳の子供があそこまで考えてできること、それを導いてあげている先生方に驚きました。
- ・ダイダイジュースのお話は楽しくお聞きしました。ダイダイの活用を思いつ経緯からダイダイジュース屋さんを開くまでの過程で試行錯誤されていると感じました。
新しいものを導入するのは簡単ですが、そうせず、身近にあるもので如何に新しいものを創造するかという観点を大事にしているのだということが伝わりました。
それも日頃身近なものをよく観察されているからだと思いました。あらゆるものごとはしっかり観察することから始まると感じますので、そういう園の姿勢が園児や保護者含めた関係者にいい刺激になっていると感じ、納得できました。
- ・橙の収穫の活動では、子どもたちが実際に橙を手に取り、香りや感触、味等を確かめ、子どもたちの意見を元に活動が進んでいく様子が見られました。また、子どもたちの表情もわくわくキラキラしてるようで、見ている私も楽しかったです。
- ・家にいるだけでは想像もつかない遊び、そしてそこから発展する学びや感情は、この保育園に通ってこそ得られるものだと思います。
自分のためは利己、他人のためは利他、ダイダイジュース作りは後者にあたります。人のためにすることが自分の幸せにつながることで優しい心は育まれると思います。本当に素敵なアイデアです。
- ・まだまだ幼い子どもに、親のように優しく接してくれること、全力で遊んでくれることは、本当に充実した時間を過ごせる園だと感じました。
- ・話を聞き 0.1.2 歳児さんとは思えないくらいでしたが、年齢にあった先生方の声掛けや興味をもてる保育の進め方をしっかりされているんだらうなととても感心しました。
家だとまだまだ赤ちゃんで何も出来ないと思いがちですが、保育所に通う事で家では出来ない大きな経験をさせてもらえる環境に私の子供は保育園には通ってなかったですが羨ましく思いました。

◎本日の評価委員会の内容について

- ・情報の一斉配信という方法で保護者(父・母)と共有しながらの取り組みに時代を感じびっくりしました。
- ・いろいろな研修にも参加され、それを反映している。子供を1番に考えてくれていることが改めてわかりました。いつもありがとうございます。ねらいをもった遊びで、総合的に学んでいることがよくわかった。
- ・理事長の「型にはめた育児より、子どもの成長によりそった育児のほうが手間がかかる」というお話や、奥村先生の「園の方針が保護者に伝わっていないと感じる」というお話がとても印象に残っています。アンケート拝見しましたが、保護者の指摘の中には「これ、園でもうやってるよなあ」と感じるものが散見され、保護者と園のあいだに認識のギャップがあることもよくわかりました。
現状、1番大事なのは「保護者側がもっと園の発信する情報にアンテナをはる必要がある」ということと、そのために何をすべきか考えることかと感じます。残念ながら、保護者の中には、お金を払って行政に育児を委託しているのだから、園は〇〇して当然、という姿勢の人が一定数います(乱暴な言い方だと、園の関係者を人間として見ず行政の一部とみている、ともいえます。ただ、各家庭の負担状況によっては、園の育児、教育に目を向ける余裕がないだけの人もいるかと思います)。
この状況ではお互い溝は深まるばかりですから、保護者はきちんと園の関係者を一人一人尊重して、努力、工夫をされている姿勢をもっと認識していただき、理事長のおっしゃる「園児、保護者、園、地域すべてのつながり」をより確かなものにするために微力ながらお手伝いできればと思います。
- ・参加させていただきありがとうございました。保育園・幼稚園どちらも、本当に素晴らしい取り組みをしてくださっていると思います。保護者と同じぐらいの子どもに対する深い愛情を感じました。普段から我が子は家でよく「先生ごっこ」をしますが、その「先生」はとても優しい言葉づかいで、相手の気持ちを聞いたり寄り添ったりしています。子どもは先生のことが大好きでよく見ています。そしてその子どもを親が見て、嬉しい気持ちになっています。いつもありがとうございます。
- ・評価委員会の目的が保育の実態と保護者の要望のズレを埋めるためのものでしたら、特に多かった要望に対する取り組みを次年度に発表していただければいかがでしょうか。
- ・幼稚園、保育園共に、毎日の子どもたちの活動を生きいきしたものにする為、日頃からたくさんの環境を整えて下さっている先生方に改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。
砂場でドリップコーヒーを出したり、自然に出来た橙の果汁を飲んでみたりと、家では出来ない事を存分に楽しめる子どもたちの笑顔が印象的でした。うちは、1年生と6年生の子どもがいますが、上の子は未だに幼稚園が楽しかったと話していますし、下の子も幼稚園に行きたくないと聞いたことは1度もありませんでした。「幼稚園＝楽しい」を毎日作って下さり本当にありがとうございました。
- ・長年通わせて頂いておりますが、なかなか細かい園での取り組みや先生方の思いなど聞く事がなかったのも、今回参加させて頂きお話を聞かせて頂けてとても良かったです。
ありがとうございました。